

平成26年度 東京湾UMIプロジェクト活動報告

1. 平成26年度 UMIプロジェクト活動報告

((一財)セブソールブソ記念財団、(株)高千穂、味の素(株))

2. 平成27年度 UMIプロジェクト実施計画

((一財)セブソールブソ記念財団、(株)高千穂)

3. その他

①既存活動企業の活動休止について

②新規企業の参画・活動の流れ

平成26年度UMIプロジェクト活動報告

○一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

1. アマモの花枝採取

2. 平成26年 6月14日

3. 横浜市金沢区海の公園



活動場所

- ① 横浜市金沢区
海の公園

協力団体

金沢八景-東京湾アマモ場再生会議
NPO法人海辺つくり研究会
横浜市漁協芝支所
神奈川県水産技術センター
横浜市 港湾局
国交省 関東地方整備局

4. 参加者70名

5. 活動内容

- ①アマモの花枝採取
- ②食育（東京湾の食材を食べる）
- ③海の生きもの観察（潮干狩り）
- ④実施状況をセブン&アイグループ誌、弊財団HPに掲載。

6. 写真



全体説明後、記念撮影



安全対策の説明



アマモが育っている場所へ移動



花枝採取



アマモの花枝を丁寧に採取



アマモが群生している状況が
遠くからでも確認できる

7. 所見

1) UMI プロジェクト活動として、何かを採取するものは、活動として見えやすい。参加する人が見えやすいことが大切だ。

2) ベイサイドは、素人が使える海ではない。いきなり潜ることはできない。この海域限定となると難しい。

3) セブンイレブングループメンバー多数で参加できる花枝採取を継続していきたい。

平成26年度UMIプロジェクト活動報告

○株式会社 高千穂



活動場所

協力団体

金沢八景—東京湾アマモ場再生会議
NPO法人海辺つくり研究会
横浜市漁協芝支所
神奈川県水産技術センター
横浜市 港湾局
国交省 関東地方整備局

活動報告①

1. 活動内容：アマモの苗移植
2. 時期：平成26年5月10日
3. 活動場所：横浜市漁協芝支所
4. 参加人数：60名

活動報告②

1. 活動内容：アマモの花枝採取
2. 時期：平成26年6月1日
3. 活動場所：横浜市金沢区海の公園
4. 参加人数：150名

活動報告③

1. 活動内容：アマモの苗床づくり
2. 時期：平成26年11月1日
3. 活動場所：横浜市漁協芝支所
4. 参加人数：12名

その他の活動内容

- 1) 海の環境学習（食育）
- 2) 自社のチラシや情報誌及びHPへの掲載

URL:<http://www.100percent.co.jp/column/view/15>

写真（活動報告①：5月10日）



活動内容説明後、記念撮影



よく育ったアマモの苗



アマモの苗を粘土に括りつける



ダイバーによる移植
デモンストレーション



柴漁港で取れたアナゴ（食育）



実施企業である(株)高千穂坂本氏

(活動報告② : 6月 1日)



活動内容説明後、記念撮影



ライフジャケット着用



採取場所へ移動



花枝採取



アマモが群生する海の公園

(活動報告③ : 11月 1日)



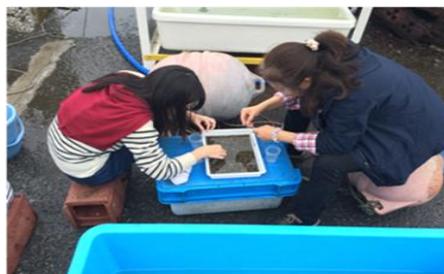
○腐葉土をフルイにかける



○アマモの種を100粒毎に小分けする



○腐葉土と川砂を混合する



○アマモの種の小分け作業



○種蒔を終えたプランター(24個)



○プランターを大型の水槽に入れる作業



記念撮影:雨の中作業を終える参加者

所見

①高千穂としては、社会に貢献する活動を続けており、その一つとして UMI プロジェクトを知り参加に至った。一通り経験しこのようなものだということが分かったところ。

②プランターの海水交換など、目に見えないところの作業が意外と多く大変だった。しかし、横浜市漁業協同組合柴支所の組合員（漁師）の方々が気にかけてくださり、海水交換も手伝ってくださったので、大変助かった。やはり、活動の継続には、いろいろな立場の者同士の協力が不可欠と感じる。

③清掃とかハゼ釣り調査とかその他の取り組みもいいと思う。アマモの場合、集客が大変だということを感じた。花枝採取などは判りやすくよかった。今後も継続して行きたい。

平成26年度UMIプロジェクト活動報告

味の素 株式会社

1. アマモの苗移植

2. 平成26年5月10日

3. 横浜市漁協柴支所



活動場所

① 横浜市金沢区

柴漁港

協力団体

金沢八景—東京湾アマモ場再生会議

NPO法人海辺づくり研究会

横浜市漁協芝支所

神奈川県水産技術センター

横浜市 港湾局

国交省 関東地方整備局

4. 参加人数 60名（社員及び家族18名、友人2名、共同実施者より40名）

5. 内容

1) アマモの苗移植 プランター数 6個（うち1個は、アミノ酸を添加）

2) 環境学習及び食育：

東京湾の現状についての説明（NPO法人海辺づくり研究会）柴漁港での漁業、水揚げの状況の説明（横浜市漁協柴支所）を聞き、その後皆で水揚げされた江戸前アナゴを頂きました。

6. 写真



活動内容説明後、記念撮影



よく育ったアマモの苗



アマモの苗を粘土に括りつける



ダイバーによる移植
デモンストレーション



柴漁港で取れたアナゴ（食育）



実施企業である味の素(株)栗脇氏

7. 所見

1) 海の恵みを頂きながら、それに少しでも貢献することができる機会をいただき有意義でした。

2) ただ、活動場所が事業所と距離があったこと、成果を実感するのが難しい、といった理由で、会社全体の活動に広がらなかったのは残念でした。

3) UMI プロジェクト活動は、一旦休止しますが、今後、社員が参加しやすい運動形態や動機づけの工夫を考えて、再挑戦したいと思います。

平成27年度UMIプロジェクト実施計画

○一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

○実施内容1 アマモの花枝採取

・時期

2015年6月中旬

・場所

横浜 海の公園

・活動内容

*目的

アマモの種を採るための花枝を採取

*参加人数

70名

*規模、数量

花枝採取 2,500本程度

*期待される成果

アマモの播種用の種を確保し、東京湾水環境の再生に寄与していく。

平成27年度UMIプロジェクト実施計画

○株式会社 高千穂

実施内容①

- ・ 活動内容：アマモの苗の移植
- ・ 時期
2015年5月上旬
- ・ 場所
柴漁港（横浜市金沢区）及び開放海域（金沢区白帆）
- ・ 参加人数：十数名
- ・ 規模、数量：アマモの苗プランター24個
(NPO 法人海辺つくり研究会の指導による)

実施内容②

- ・ 活動内容：アマモの花枝採取
- ・ 時期
2015年6月中旬
- ・ 場所
横浜 海の公園
- ・ 活動内容
- ・ 目的
アマモの種を採るための花枝を採取
- ・ 参加人数
70名
- ・ 規模、数量
花枝採取 2,500本程度
- ・ 期待される成果
アマモの播種用の種を確保し、東京湾水環境の再生に寄与していく。

新規企業の参画・活動の流れ

- 3/11 海域対策分科会にて
新規参画のスキーム（案）の確認
- 3/末 新規参画企業への連絡。実施計画を依頼
- 4/上 新規参画企業活動開始

